

# 宇治山田駅前賑わい創出事業

## 活動を通して学んだこと

伊勢市観光文化会館と協力して、コンサートやマルシェを成功させようということで、令和2年度9月よりプロジェクトが立ち上がり、12月に本番を迎えた。今回は短いスパンでの準備になりましたが、次年度からはさらに事前準備を重ねて、学生中心で行います。



TEAM DATA メンバー数：13名

活動場所：伊勢市

実施主体：シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢

（伊勢市観光文化会館）

担当教員：筒井 琢磨（現代日本社会学部）

活動年度：R02

### 月別活動

(9月) CLU活動立ち上げ

1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

(10月) キックオフミーティング

約3ヶ月間という長い準備期間で、伊勢市観光文化会館の自主事業である「イルミネーション冬のフェスティバル」において、学生としてプロジェクト運営を行った。この内、新型コロナウイルス対策のための体温測定、マスクの配布、ソーシャルディスタンス保持などの手順を定め、マスクとしてのサンタのコスプレなど、多くの役割を担わせていただきました。伊勢市観光文化会館と設定した、解決すべき地域の課題として

「人口減少により暮らしの方をよくするために取り込み、楽しんでらう」というものを挙げてきました。

(11月) 準備、ミーティング

本番は200名以上の方に来ていただき、その中にはひとり暮らしの方もたくさんいらっしゃいました。

(12月) イルミネーション冬のフェスティバル本番

そこで、サンタと楽しくお喋りをされたり、催し物が楽しかったと言ってくださる方が多くいらっしゃいました。今回が初めての活動であるため、課題も多く見つかった。まずは準備時間が短かったことにによる、まとまりの悪さなどももつと時間がかかる、館内の装飾などももっと作らなければなりません。

(1月) アンケート集計

これらに良いものを作り上げることが出来ただろうと考えました。

(2月) 反省会、次年度に向けて



（1月）アンケート集計

（2月）反省会、次年度に向けて

学んだことは、学校を超えて、施設の方々などと協力し合いながら企画し、運営することの難しさや、地域に貢献できていることの充実さです。ボランティアなどと企画してあるのに参加するという形がどちらが施設の方々と協力し合いながら案を出し合い、一から作り直して準備を行いました。また、zoomなどを使って学生同士で意見を出し合ったりなどコミュニケーションの向上や、主体的に行動できる力を身につけました。

本番、地域の方々と触れ合い、地域に貢献できているという実感や、改善点を次はどうしたらいいのかなど自分事として考える事がたくさんありました。

### 実施主体からのコメント

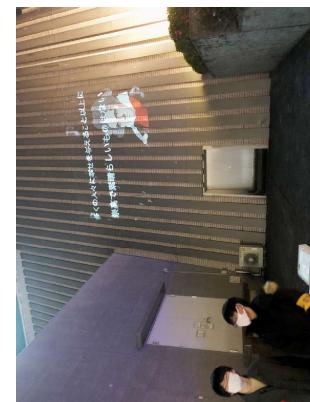
シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢  
(伊勢市観光文化会館) 加賀さん

学生諸君の動きの良さ、理解力の高さ、社会課題に向けた強い思いと取り組みにより、お客様が満足して帰られたことはもとより、独り暮らしをする方々に、ひと時でありながら、楽しむ、楽しむ心が温められた。もちろん、楽しむ、楽しむ心が温められた心を癒すことができたと感じることができ、明倫地区における社会課題を解決する糸口になる学生諸君は、自分の持つビジョンにおいて、「どうしたら良いか」と仲間と一緒に考え、試行錯誤する様子は、社会教育の観点からも大切なひと時であったと感じることができます。

学生諸君ひとりひとりが、CLU活動というミッションの中で、共通の課題を解決することが大切なことであると気付いたことがあります。学生諸君がここで共に悩み、笑い、楽しんだことを胸にしまいかれながら社会に出た時に、振り返りたくましく生きていいくことを期待している。

### 担当教員より

現代日本社会学部 筒井 琢磨  
多才なメンバーが揃い、事前打合せもままに連絡を取り合ってされていました。当日は各自の担当を工夫しながらうまくつながっていました。皆さんのチームワークで一つのことを最後まで成し遂げたという貴重な経験をぜひ次の機会に活かしてください。



プロジェクト